

別表1 健康リスク初期評価結果一覧(平成9~12年度)

CAS 番号	物質名	一般毒性及び生殖・発生毒性に関する有害性評価(無毒性量等の根拠)				暴露評価		Margin of Exposure (MOE)	評価結果	IARC 分類		
		暴露経路	動物種	影響評価指標 (エンドポイント)	無毒性量等	暴露経路	予測最大量					
1	79-06-1	アクリルアミド	経口	ネコ	歩行機能への一過性の影響	0.2 mg/kg/day	吸入(環境) #1	< 0.006 µg/kg/day	> 3,300		2 A	
			吸入	-	-	-	-	-	-	-		x
2	75-07-0	アセトアルデヒド	経口	-	-	-	-	-	-	-	x	2 B
			吸入	ラット	肺洗浄液中の貪食細胞数の減少、臭覚上皮の変性	4.9 mg/m ³	吸入(室内)	140 µg/m ³	3.5			
			吸入(環境)			5.5 µg/m ³	89					
3	62-53-3	アニリン	-	-	-	-	-	-	-	x	3	
4	309-00-2	アルドリン	ディルドリンの欄を参照								3	
5	78-79-5	イソブレン	-	-	-	-	-	-	-	x	2 B	
6	100-41-4	エチルベンゼン	経口	ラット・マウス	肝細胞と腎尿細管上皮細胞に混濁腫脹	97 mg/kg/day	経口	0.004 µg/kg/day	2,400,000	#3	2 B	
			吸入	ウサギ	生存胎仔数の減少	120 mg/m ³	吸入(室内)	70 µg/m ³	170			
			吸入(環境)			6.9 µg/m ³	1,700					
7	106-89-8	エピクロロヒドリン	-	-	-	-	-	-	-	x	2 A	
8	72-20-8	エンドリン	経口	イヌ	肝障害	0.025 mg/kg/day	経口	< 0.0040 µg/kg/day	> 630		3	
			吸入	-	-	-	-	-	-	-		x
9	1330-20-7	キシレン	経口	ラット	体重増加の抑制と死亡率の増加	180 mg/kg/day	経口	< 2.0 µg/kg/day	> 9,000		3	
			吸入	ヒト	中枢神経系の自覚症状	2.2 mg/m ³	吸入(室内)	115 µg/m ³	19			
			吸入(環境)			34 µg/m ³	65					
10	100-00-5	1-クロロ-4-ニトロベンゼン	-	-	-	-	-	-	-	x	3	
11	123-86-4	酢酸ブチル	-	-	-	-	-	-	-	x	-	
12	75-56-9	酸化プロピレン	経口	-	-	-	-	-	-	-	x	2 B
			吸入	ラット	鼻腔上皮細胞の変性	1.3 mg/m ³	吸入(室内)	-	-	-	x	
			吸入(環境)			0.15 µg/m ³	870					
13	75-35-4	1,1-ジクロロエチレン	経口	ラット	肝細胞の空胞化、脂肪化	0.9 mg/kg/day	経口	< 0.10 µg/kg/day	> 900		3	
			吸入	ラット	肝細胞の空胞化	1.8 mg/m ³	吸入(室内)	< 0.05 µg/m ³	> 3,600			
			吸入(環境)			0.029 µg/m ³	6,200					
14	542-75-6	1,3-ジクロロプロペン	経口	ラット・マウス	体重増加の抑制	2.5 mg/kg/day	経口	< 0.088 µg/kg/day	> 2,800		2 B	
			吸入	ヒト	精子数および正常精子割合の減少	1.1 mg/m ³	吸入(室内)	-	-	x		
			吸入(環境)			1.7 µg/m ³	650					
15	95-50-1	o-ジクロロベンゼン	経口	マウス	腎尿細管の変化	43 mg/kg/day	経口	< 0.042 µg/kg/day	> 100,000		3	
			吸入	ラット	肺炎と好酸球増多症	0.024 mg/m ³	吸入(室内)	< 0.2 µg/m ³	> 12			
			吸入(環境)			0.12 µg/m ³	20					
16	106-46-7	p-ジクロロベンゼン	経口	イヌ	肝臓、腎臓、甲状腺の重量増加、ALP上昇、肝細胞肥大	7.1 mg/kg/day	経口	3.6 µg/kg/day	200		2 B	
			吸入	ラット	肝臓と腎臓の重量増加	7.5 mg/m ³	吸入(室内)	530 µg/m ³	1.4			
			吸入(環境)			2.9 µg/m ³	260					
17	68-12-2	N,N'-ジメチルホルムアミド	経口	-	-	-	-	-	-	-	x	3
			吸入	ヒト	頭痛、消化不良、肝機能障害	0.52 mg/m ³	吸入(室内)	-	-	-	x	
			吸入(環境)			0.47 µg/m ³	1,100					
18	74-83-9	臭化メチル	経口	ラット	前胃扁平上皮の過形成	0.14 mg/kg/day	経口	< 0.20 µg/kg/day	> 70		3	
			吸入	ラット	鼻腔粘膜の炎症	0.28 mg/m ³	吸入(室内)	-	-	x		
			吸入(環境)			0.21 µg/m ³	130					
19	100-42-5	スチレン	経口	イヌ	ハインツ小体の増加	140 mg/kg/day	経口	< 0.40 µg/kg/day	> 35,000		2 B	
			吸入	ヒト	神経行動テストへの影響	2.6 mg/m ³	吸入(室内)	17 µg/m ³	150			
			吸入(環境)			1.9 µg/m ³	1,400					

20	50-29-3	p,p'-DDT	経口	ヒト	肝機能障害	0.06 mg/kg/day	経口	0.16 µg/kg/day	380		2 B
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
21	60-57-1	ディルドリン	経口	ヒト	尿中の17-ヒドロキシコルチコステロイド等への影響	0.02 mg/kg/day	経口	< 0.015 µg/kg/day	> 1,300		3
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
22	79-94-7	テトラプロモビスフェノールA	-	-	-	-	-	-	-	X	-
23	95-53-4	o-トルイジン	-	-	-	-	-	-	-	X	2 A
24	108-88-3	トルエン	経口	ラット	雄の腎臓と肝臓の重量増加	22 mg/kg/day	経口	< 0.0024 µg/kg/day	> 920,000		3
			吸入	ヒト	神経行動機能への影響	7.9 mg/m ³	吸入（室内）	270 µg/m ³	29		
							吸入（環境）	49 µg/m ³	160		
25	584-84-9	トルエンジイソシアネート	経口	-	-	-	-	-	-	X	2 B
			吸入	ヒト	感作	0.0002 mg/m ³	吸入（室内）	-	-	X	
							吸入（環境）	-	-	X	
26	302-01-2	ヒドラジン	経口	-	-	-	-	-	-	X	2 B
			吸入	ヒト	夜間の悪夢という自覚症状の増加	0.0009 mg/m ³	経口 #2	0.024 µg/kg/day	38		
27	92-52-4	ビフェニル	経口	ラット	腎盂上皮細胞の過形成	3.8 mg/kg/day	経口	< 0.40 µg/kg/day	> 950		-
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
28	108-95-2	フェノール	経口	ラット	腎臓のうっ血、腎乳頭部細尿管の変性等	1.2 mg/kg/day	経口	4.0 µg/kg/day	30		3
			吸入	ヒト	咳や痰などの上気道刺激症状や体重減少など	4.5 mg/m ³	吸入（室内）	-	-	X	
							吸入（環境）	0.60 µg/m ³	7,500		
29	117-81-7	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	経口	ラット	精巢セルトリ細胞の空胞化	3.7 mg/kg/day	経口	44 µg/kg/day	8.4		3
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
30	84-74-2	フタル酸ジ-n-ブチル	経口	ラット	雄の仔の乳輪、乳頭の保持	50 mg/kg/day	経口	1.2 µg/kg/day	4,200		-
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
31	131-11-3	フタル酸ジメチル	-	-	-	-	-	-	-	X	-
32	118-74-1	ヘキサクロロベンゼン	経口	ラット	ミトコンドリアの膨化、滑面小胞体の増加	0.05 mg/kg/day	経口	< 0.0040 µg/kg/day	> 1,300		2 B
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
33	110-54-3	n-ヘキササン	経口	-	-	-	-	-	-	X	-
			吸入	ヒト	頭痛、四肢知覚異常など	1 mg/m ³	吸入（室内）	24 µg/m ³	42		
							吸入（環境）	17 µg/m ³	59		
34	76-44-8	ヘプタクロル	経口	イヌ	肝細胞の膨化と肝小葉付近の細胞内顆粒の局在化	0.025 mg/kg/day	経口	< 0.0040 µg/kg/day	> 630		2 B
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
35	82-68-8	ペンタクロロニトロベンゼン	経口	イヌ	胆汁うっ滞性肝障害	0.75 mg/kg/day	経口	< 0.080 µg/kg/day	> 940		3
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
36	87-86-5	ペンタクロロフェノール	経口	ラット	新生仔の生存率、体重増加率の低下	3 mg/kg/day	経口	< 0.20 µg/kg/day	> 1,500		2 B
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	
37	50-00-0	ホルムアルデヒド	経口	ラット	体重減少、胃上皮の組織学的変化、腎臓の壊死等	15 mg/kg/day	経口	62 µg/kg/day	24		2 A
			吸入	ヒト	ヒトの感覚刺激（鼻やのど）を防ぐための30分平均値	0.1 mg/m ³	吸入（室内）	230 µg/m ³	0.43		
							吸入（環境）	5.5 µg/m ³	18		
38	108-90-7	モノクロロベンゼン	経口	ラット	肝臓の腫瘍性結節	43 mg/kg/day	経口	< 0.21 µg/kg/day	> 20,000		-
			吸入	ラット	GOT低下、肝臓と腎臓の重量増加、副腎皮質の病変等	0.71 mg/m ³	吸入（室内）	0.88 µg/m ³	81		
							吸入（環境）	0.12 µg/m ³	590		
39	115-96-8	リン酸トリス(2-クロロエチル)	経口	ラット	腎臓、肝臓の相対重量増加	16 mg/kg/day	経口	< 0.21 µg/kg/day	> 7,600		3
			吸入	-	-	-	-	-	-	X	

(注1) 暴露量の予測最大値は原則として実測最大値である。

(注2) 吸入（室内）：室内空気の吸入暴露、 吸入（環境）：一般環境大気の吸入暴露

(注3) : 現時点では作業は必要ない、 : 情報収集に努める必要がある、 : 詳細な評価を行う候補、 x : 現時点ではリスクの判定はできない

(注4) #1: 吸入暴露量を経口暴露量に換算して評価、 #2: 吸入暴露の無毒性量を経口暴露の無毒性量に換算して評価

(注5) #3: 予測最大量が地下水経由のみの値であったことから、参考値としての扱いとする。

(注6) : 暴露量はディルドリンとアルドリンの合計を用いた。

(注7) - : 無毒性量等が設定できなかった場合を示す。 また、予測最大量が得られなかった場合も同様である。